

府中市の学力向上に向けた取組について

令和5年12月26日
教育部指導室

1 府中市の現状（「全国学力・学習状況調査」における【第3次府中市学校教育プラン策定時（以下、教育プラン）】と【現在】の比較）

（1）府中市、東京都、全国の平均正答率の比較（小学校第6学年、中学校第3学年）

小学校				中学校			
【教育プラン策定時】				【現在】			
教科		R元	R3	教科		R4	R5
国語	府中市	65	66	国語	府中市	69	69
	東京都	65	68		東京都	69	69
	全国	63.8	64.7		全国	70.5	67.2
算数	府中市	69	73	算数	府中市	67	66
	東京都	70	74		東京都	67	67
	全国	66.6	70.2		全国	63.2	62.5

【教育プラン策定時】				【現在】			
教科		R元	R3	教科		R4	R5
国語	府中市	78	69	国語	府中市	72	73
	東京都	74	67		東京都	70	72
	全国	72.8	64.6		全国	69	69.8
数学	府中市	65	64	数学	府中市	58	57
	東京都	62	60		東京都	54	54
	全国	59.8	57.2		全国	51.4	51.4
英語	府中市	61		英語	府中市		55
	東京都	59			東京都		52
	全国	56.0			全国		45.6

○ 小学校の国語は、教育プラン策定時の令和3年度には、東京都の平均正答率を2ポイント下回っていたが、令和4、5年度においては、東京都と同じレベルとなった。
また、算数の平均正答率は東京都とほぼ同程度であり、いずれの年度も全国を上回っている。

○ 中学校は、全ての教科において、全国・東京都の平均正答率を上回っている。

（2）府中市と東京都との児童・生徒数分布の比較

小学校						中学校					
【教育プラン策定時】						【現在】					
	R3	D層	C層	B層	A層		R5	D層	C層	B層	A層
国語	府中市	19.6%	28.5%	25.5%	26.6%	国語	府中市	21.1%	20.6%	26.7%	31.5%
	東京都	18.2%	25.6%	24.7%	31.3%		東京都	21.9%	18.0%	26.9%	33.3%
	都との差	1.4%	2.9%	0.8%	-4.7%		都との差	-0.8%	2.6%	-0.2%	-1.8%
算数	府中市	24.3%	25.1%	25.7%	25.1%	算数	府中市	20.2%	24.4%	28.6%	26.9%
	東京都	23.6%	25.7%	24.4%	26.3%		東京都	21.4%	20.9%	28.7%	29.2%
	都との差	0.7%	-0.6%	1.3%	-1.2%		都との差	-1.2%	3.5%	-0.1%	-2.3%

【教育プラン策定時】						【現在】					
	R3	D層	C層	B層	A層		R5	D層	C層	B層	A層
国語	府中市	18.6%	24.9%	30.1%	26.2%	国語	府中市	19.9%	28.0%	13.1%	38.9%
	東京都	23.3%	22.8%	29.0%	25.0%		東京都	22.8%	26.6%	13.0%	37.5%
	都との差	-4.7%	2.1%	1.1%	1.2%		都との差	-2.9%	1.4%	0.1%	1.4%
数学	府中市	15.2%	21.1%	23.3%	40.7%	数学	府中市	15.5%	23.1%	27.8%	33.7%
	東京都	21.3%	22.6%	20.6%	35.5%		東京都	20.8%	22.2%	25.1%	31.7%
	都との差	-6.1%	-1.5%	2.7%	5.2%		都との差	-5.3%	0.9%	2.7%	2.0%
英語 ※R1	府中市	15.1%	29.0%	22.5%	33.5%	英語	府中市	20.5%	22.0%	30.5%	27.2%
	東京都	19.9%	29.2%	20.0%	31.0%		東京都	23.1%	25.2%	26.7%	25.1%
	都との差	-4.8%	-0.2%	2.5%	2.5%		都との差	-2.6%	-3.2%	3.8%	2.1%

※各層は、調査者を正答数の大きい順に整理し、推計した人数比率により25%刻みで4つの層分けを行ったものであり、上位からA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称したもの。各層の境界値は、東京都を基準に定めています。

○ 小学校は、教育プランの策定時から、国語では、A・B層の割合が増加し、算数では、D層の割合が減少するなど、学力の底上げが図られた。

○ 中学校は、教育プラン策定時から、国語では、A層の割合の増加、数学では、A・B層の維持、英語では、A・B層の維持並びにC・D層の減少が見られ、学力の定着が図られている。

○ 令和5年度では、小・中学校ともに、基礎的な問題の無回答率が減少しており、基礎・基本の定着が図られている。

2 学力向上に向けた取組

義務教育9年間の系統的・継続的な取組により、「課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自らの考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力」を育成する

◆主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための取組
 - 教材の工夫や学習の定着を測る振り返り活動など、日々の授業改善の充実
 - 地域と連携した補習教室やスクールコミュニティ主催の検定の実施
- ② 主体的に学習に取り組む態度を育成するための指導
 - 教科等横断的な学習の工夫や既習事項を活用した指導の工夫
 - 学習評価の判断基準（ルーブリック）を活用した指導の工夫
- ③ 授業改善推進プランの作成・実施
 - 全市立学校で全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な授業改善プランを作成し授業改善に取り組む
- ④ 家庭学習の充実を図る取組
 - 予習や復習でのタブレット端末を活用した家庭学習の充実
 - 市教育委員会で作成した家庭向けリーフレットの配布・周知

◆体験的、課題解決的な学習の充実

- ① 各教科等の学びを活かす学習の充実
 - 意図的・計画的に体験的・課題解決的な内容を位置付けた日々の授業の工夫
 - 主体的に課題解決や合意形成に向けて活動する学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事等を通して、安心して学べる環境を構築
 - 各種コンクール（人権作文コンクール・統計グラフコンクール）を各教科等と関連させて計画的に位置付け
- ② 「未来へつなぐ府中2020レガシー」の充実
 - 各教科等で学んだ府中市のよさや課題等を関連付け、府中の未来について考える教育活動の実施
- ③ 地域、異学年との交流を図る活動の充実
 - 地域の課題を解決する学習活動やタブレット端末等を活用した異学年や地域、遠隔地等と交流する協働的な学びの充実

◆英語教育の充実 ※学力調査「話すこと」に関連する取組

- ① 児童・生徒が主体的に英語でコミュニケーションを図るための授業の工夫
 - ペアやグループでのやり取り、デジタル教科書等の活用による児童・生徒の英語の発話量を増やす授業の工夫
- ② 児童・生徒が英語でコミュニケーションを図る機会の充実
 - 休み時間や給食の時間など、英語の授業以外でのALTの活用の工夫
 - 「TOKYO GLOBALGATEWAY」での体験を通じた英語を学ぶ意欲の向上
 - 各学校で取り組む「世界とつながる 英語 Enjoy Week」の実施
- ③ 各校の取組の共有・情報発信
 - 外国語教育担当者連絡会、学力向上プロジェクトチーム（英語）、府中市研究推進校（英語教育）が連動した取組等の情報発信・共有
- ④ 市教育委員会主催の英語体験活動の実施
 - 夏季休業中に市立小・中学生を対象にした「Fuchu English Village」の実施